

おうちの図工室・美術室

思いが強いよ！〇月のカレンダー

対象学年 中学校 2年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

もうすぐ4月が終わります。あなたにとって、2020年4月はどんな月でしたか。来年になれば、また「4月」はやってきますが、「2020年4月」は二度とやってきません。そう考えると、時間や季節が違って感じますね。あなたは、この4月をどのように感じましたでしょうか。

壁掛けの月めくりカレンダーには、季節の写真や絵がのせられているものが多いですね。でも、あなたならば、どうしますか。

どの月でも構いませんからあなたの大切な季節や時間がいつも部屋で感じられるよう、写真を撮ってきたり、絵をかいたり、はり合わせたりして作ってください。

- 月、日、曜日もわかるように示してください。示し方は自由です。
- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね。あなたなら何を使ってカレンダーにかいたり、貼ったりしますか。
- 用紙の大きさもあなたがその月から感じた大きさと作ってみてください。
- 何年のどの月にするか、枚数をどうするかはあなたで決めてください。たとえば、5月を1枚作ってみてください。5月を2枚だったらどうだろう。もちろん、1年間12枚を作ってもいいです。
- カレンダーを作ったときに、感じた季節への思いや、その月、日への思いなどを別の用紙に文章でかいてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分の過ごした時間を、その時の音楽や、見たもの、考えたもの、感じたものでまとめることで、自分の思考や、存在が何で構成しているのかを自覚します。中学生の時期にとって自画像をかくことで感じてほしいくらいの大きな発達課題だと思います。

深く見つめる

今の自分自身が生活している、身のまわりの自然や、環境にどのようなもの（形、色彩、光、思い当）や人の存在と、自己とのかかわりについて考えます。

三観点

知識・技能

家にある、素材や道具を活用し、テーマにそって表現しようとしている。

思考・判断・表現

自分の心のありかたと、身のまわりにある自然や、環境とのかかわりを感じたり、思考したりする。

主体的に学習に取り組む態度

多様な表現方法用いるなどして、多様な視点自分や、自然をとらえようとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

色画用紙、毛糸、ストロー、はさみ、ボンド、ペン



お花のように
やさしい笑顔
届けれる人
になりたいな

私は
周りの人に
やさしいかなあ

●●ちゃんは
お花のように
やさしいから

「いつも、ありがとう」

大好きな友だちのことを想ってつくりました。その友だちは、お花のようにやさしく、やわらかい笑顔をしています。私だけでなく、周りの人も笑顔にしてくれています。なので、いつも、ありがとうの気持ちを込めて、友だちの誕生日である9月に思いを込めました。はじめは、その友だちのやさしさとあたたかさを毛糸でまるのお花をつかっていました。しかし、“私は周りの人にとってどのような存在だろうか”と考えるときがありました。できあがったカレンダーを見ると、大好きなその友だちが浮かび、穏やかな気持ちになりました。周りの人が笑顔になったり、穏やかな気持ちになったりするような、そんな存在になりたいです。

世界中の人に
とって5月が
すてきになったら
いいな

今振り返ると
いい思い出
大切に
しまっておこう

今は大変
忘れないように
記録しておこう



使用した材料・道具

プラスチックカップ、毛糸、綿、モール、花紙、アルミホイルカップ、ソップス、デコレーションボール、はさみ、油性ペン

「これまでとこれからの2020年」

今、この時、自分が感じたことを思い出や記録として残そうと思い、つくりはじめました。まずは、今月の4月からつくりました。日本だけでなく、世界中が大変な状態です。同じことが二度と繰り返されないように、記録として残しておくことにしました。次に、1月から3月までを振り返ってみました。1月はぐるぐると不安な時期もあったけれど、その時期があったからこそ、今の自分があるように思え、ポジティブに考えられるようになっていました。来月の5月は、みんなと会って、お話ししたり、ご飯をたべたり、楽しい時間をみんなで過ごせる月になってほしい、という思いを込めました。

おうちの図工室・美術室

【画材】…厚紙用紙、コピー用紙

【四月を選んだ理由】

2020年の四月は、一人暮らしが始まって気持ちを切り替え、何もかもが新鮮に感じたので、この月を選びました。また、新型コロナウイルスの影響で、予定が変更したり、中止になったりと、慌ただしい日が続いたので、そういった意味でもこの月をカレンダーにしようと思いました。

【各日の説明】

1日…故郷の県から引っ越しのために車で出発した日。外から中の様子が見えなくなるくらい、荷物を車いっぱい詰めた様子がとても印象に残っています。

・2日…引越しの手伝いをしてくれた家族が家に帰り、一人暮らしが始まった日。話し相手がいなくなって、少し寂しくなりましたが、これからは自分で全部するのだと、気を引き締めました。

・4日…一人暮らしが始まってから、初めて大学に登校した日。中止した入学式で言われる予定だった「入学の許可」の言葉を先生にもらいました。

・15日…アパートの天井にある電灯が壊れてしまった日。一人なので手伝ってくれる人がいなかったため、直すときにとても苦労し、不安になりました。

・23日…故郷から、野菜や果物、電化製品などの様々な品が段ボールに入って届きました。家族からの差し入れは、凄く嬉しかったです。

・26日…友達と、久しぶりに電話した日。電話越しから、友達が元気になっていると知れて、うれしく感じました。

【カレンダーを制作するときに工夫したところ】

・机の上に置けるように、紙の半分を三角になるように折り曲げ、簡単に自立できるようにしました。

・カレンダーの日付の枠を、その日を表すモノの形にしました。

・四月の新聞や、一人暮らしが始まった時に撮った写真を張り付けました。

【制作した感想】

カレンダーを制作することで、四月に何があり、それに対して自分はどうか対処し、行動できたのかを振り返ったり、楽しい思い出・つらい思い出などを思い返したりできて、とてもよかったです。そんな思い出の数々を、記憶として残すだけでなく、形として目に見える状態にするのは、楽しかったです。また一つ、いい思い出ができました。

そして、これからも何気ない一日一日を大切に過ごしたいと思います。



おうちの図工室、美術室

使用画材；A3 画用紙/雑誌の切り抜き/色鉛筆/水性ペン

私は食べるのが大好きなので、私の中で食べ物のおいしさが一番感じられる 8 月を選んでカレンダーにしました。暑い日差しの中食べるアイスのひんやり気持ちいい感じや、汗をかきながら食べる出来立ての料理のアツアツさ、夏の野菜の新鮮な感じなど、8 月を好きだ！と思える部分を食べ物を通して感じる事ができたと思います。8 月のカレンダーを作ったときに、ほかの月の食べ物のいいところはどこにあるか考えました。自分の幸せを違う目線から見てみることで、自分の幸せだと思える時期がさらに増えました。カレンダーの日付を作っているときに 8 月はお父さんの誕生日があることを思い出して、この日は誕生日だと一目でわかるようにろうそくを付けたケーキを描きました。8 月が好きなのは、お父さんの誕生日があることも影響していると思います。8 月にしかない楽しさやうれしさを見つけられました。



使用画材；A3 画用紙/水彩絵の具/ペン

私が一年で一番好きな季節は冬です。冬は空気が冷たく澄んでいて、温かい恰好をして外を歩くととても気持ちよく感じます。そんな冬の中でも特に 12 月が好きです。12 月は冬休みやクリスマスなど楽しいイベントがたくさんありますが、私が一番思い入れが強いのは大晦日です。私の家では大晦日になるとおじいちゃんの家へ帰省します。そして、年越しの瞬間を神社の焚火の前で迎えます。おじいちゃんの家は田舎なので満天の星空を見ることが出来ます。私はそれを家族全員で見ることを毎年とても楽しみにしています。今回自分だけのカレンダーを作ってみて、私の思い出にはいつも家族がいることに気付きました。一緒にいる時間が長いと腹が立つことや面倒くさく感じることもありますが、家族といる時間を大切に、これからはいろんな思い出を作っていきたいと思いました。

